学校便り「戸町っ子」No.２

「新しい学校教育目標②」

　前回のお便りでは、新しい学校教育目標「自ら考え、ちがいをみとめる戸町っ子」の、「自ら考え」についてお伝えしました。今回は後半の「ちがいをみとめる」についてです。

　学校は「社会の縮図」です。教室には、得意なこと、苦手なこと、考え方や感じ方が違う子供たちが集まっています。これからの社会では、自分と同じ考えの人とだけ過ごすのではなく、多様な他者と協働して未来を創る力が求められます。

　「ちがいをみとめる」とは、単に自分と違う相手を許容するだけでなく、「あらゆる人は価値ある存在である」と互いに尊重し、違いを補い合うことです。戸町小では、人権を大切にし、誰もが安心して自分の持ち味を発揮できる温かい集団づくり（いじめを許さない毅然とした指導や、多様性を尊重する支援）を進めてまいります。

　ご家庭でも、お子様自身の「よさ」をたっぷりと認めるとともに、お友達の自分とは違うすてきなところを、ぜひ前向きに話題にしていただければ幸いです。

校長　原口　徹弥